

上北山村道路橋長寿命化修繕計画

平成24年 3月

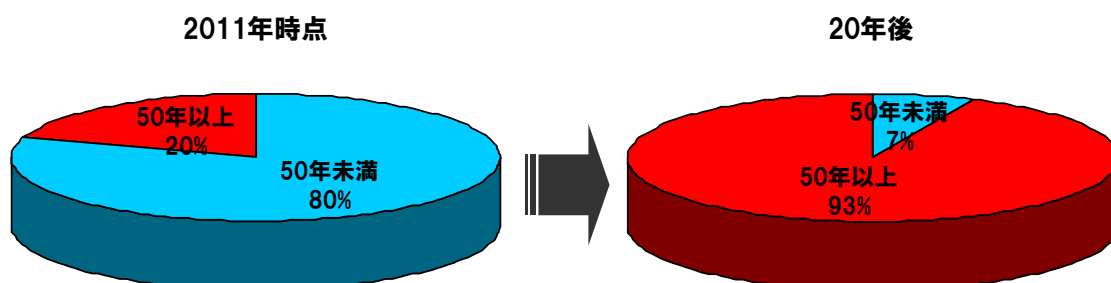
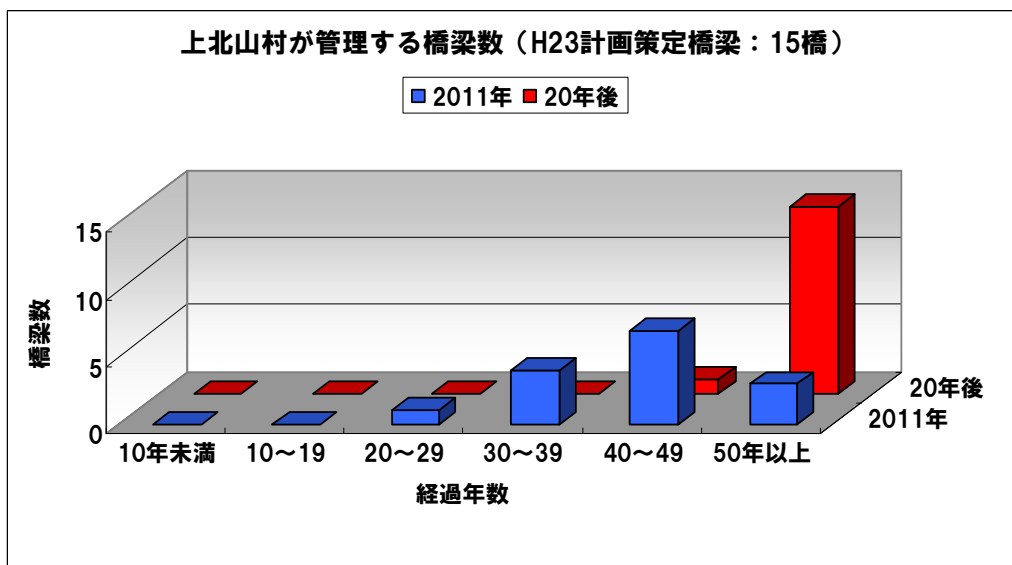
上北山村建設産業課

上北山村道路橋長寿命化修繕計画（平成 23 年度）

1. 長寿命化修繕計画の背景・目的

(1) 背景

- 本村が管理する橋梁（H23 計画策定橋梁：15 橋）のうち、現時点では建設後 50 年を経過する高齢化橋梁は 20%であるが、今後 20 年後にはこの割合が 93%に上り、急速に高齢化橋梁が増大する。
- このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに対する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取組みが不可欠である。



(2) 目的

①安全で信頼できる道路橋の確保

- 高度経済成長期に大量に建設され、今後高齢化の進む橋梁の安全性を確保し、信頼して利用できる道路ネットワークを確保する。

②コストの縮減、必要予算の平準化

- 道路交通の安全性を確保するために、これまでの対症療法的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減を図る。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	市町村道	合計
全管理橋梁数	49	49
うち計画の対象橋梁数	15	15
うちこれまでの計画策定橋梁数	15	15
うち H23 計画策定橋梁数	15	15

○長寿命化修繕計画の対象橋梁
：村道に架かる橋長 15m 以上の橋梁を対象とする。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1) 橋梁点検の徹底

○上北山村が管理する橋梁の安全性と信頼性を確保するため、奈良県が独自に作成した「道路橋に関する基礎データ収集要領（案）（奈良県版）」に基づいた定期点検を実施し、橋梁の損傷状態を把握する。

(2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

○橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理としてパトロール、清掃等の実施を徹底する。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

予防的な修繕等の実施の徹底によるトータルコストの縮減

- 点検データを定量的に分析し、かつ将来の劣化を予測することにより、科学的な知見に基づいた維持管理計画を立案する。
- 計画的、効率的管理の推進により、維持管理コストの平準化を図り、実現可能な維持管理計画を立案する。
- 予防的な補修対策を計画的に実施することで、橋梁の健全性を回復して安全性を確保するとともに、長寿命化によりライフサイクルコストの縮減を図る。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

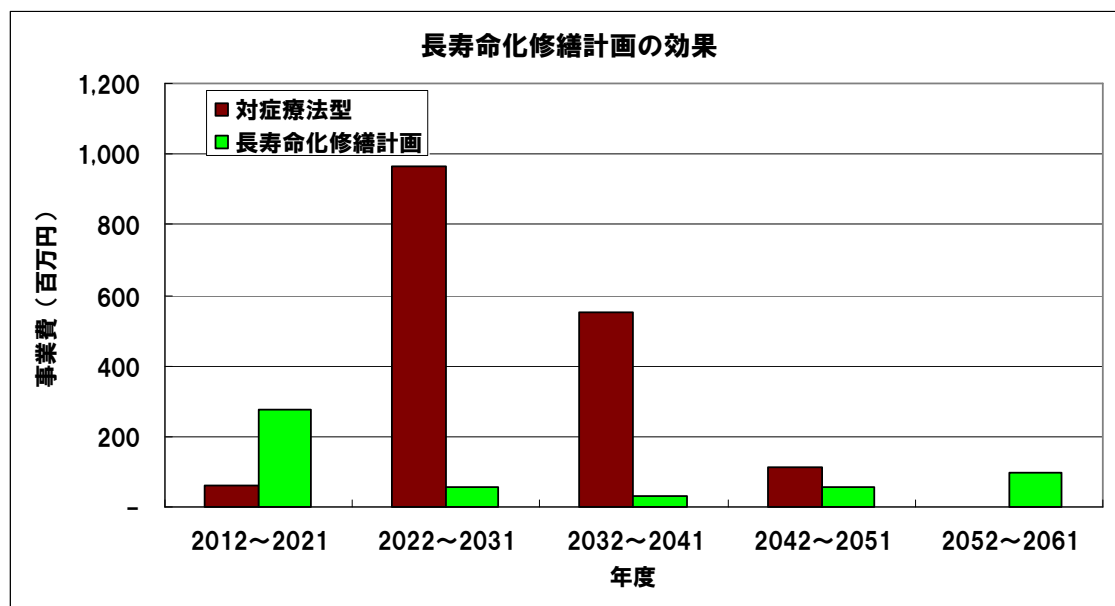
別紙のとおり

今後長寿命化修繕計画に基づいた橋梁点検や補修対策を着実に行うとともに、その結果を反映させて長寿命化修繕計画の見直しや更新を継続的に行う。

6. 長寿命化修繕計画による効果

○修繕、架替えに要する経費については、今後 50 年間で 17 億円→5 億円（▲12 億円）となり、約 7 割の縮減が見込まれる。

（H23 年度の試算結果）



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門的な知識を有する者

(1) 計画策定担当部署

上北山村建設産業課 TEL 07468-2-0001

(2) 意見を聴取した学識経験者等の専門的な知識を有する者

関西大学総合情報学部総合情報学科	古田 均 教授
京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻	杉浦 邦征 教授
京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻	服部 篤史 准教授